

部局名	教育委員会	所属名	教育総務課	所属長名	鹿野 泰司	電 話	481-0300
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3407		事務事業名称	中学校管理事業						短縮コード	経常	3407	臨時	3408
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	01	学校管理費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		教育基本法及び学校教育法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
法律制定時から開始 中学校11校の学校運営に必要な維持管理を行っている。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系		6本の柱（章）	02	第2章教育文化都市をめざして						
学校運営に必要な設備・備品等の老朽化が著しい。						大項目（節）	01	第1節教育						
						中 項 目	02	2. 義務教育						
						小 項 目	01	(1)教育環境の整備						
						細 項 目	02	②施設・設備の整備						
				実 施 計 画 の 計 画 事 業	2022	小中学校扇風機設置事業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～		計 画 事 業 費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	八千代市立中学校運営上の一般管理業務							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： ①予算の積算及び予算の執行に係わる事務②学校配当の積算, 予算書の作成及び支出負担の検収並びに支出票起票③一括購入, 委託, 借上げ他に係わる事務④県等からの調査物の作成⑤用務員により学校の用務を行なった							
	※平成24年度に計画していること： 23年度と同様							
意図 （何を狙っているのか）	学校運営の現場に必要な備品等を過不足なく適時に提供する 学校管理予算の効率的な執行をする							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 2 年度	2 3 年度		2 4 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	業務類型数（一般管理業務として取り扱っている業務の数）	件	5	5	5	5	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	学校運営に必要な消耗品, 備品, 機械等の借上の伝票件数	件	790	790	812	812	
	指標 2	施設・設備維持管理に伴う修繕と委託件数	件	255	257	283	284	
	指標 3							
成果指標	指標 1	備品の充足率（配置した備品点数/想定した備品点数）	%	100	100	100	100	
	指標 2	トータルコストに占める職員人件費（用務員除く）の割合	%	6	5.4	5.2	6.5	
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	3407	事務事業名称	中学校管理事業				所属名	教育総務課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			教育基本法及び学校教育法に則ったものであり、上位の施策を達成するために継続する。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			設備等の老朽化が著しいため、修繕費用が増加する。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☒		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
施設・設備の老朽化などが指摘され、また、余裕教室などの活用ということで、学校本来の目的外の使用の要求が増え続けている。 用務員について、学校現場で臨機応変に対応出来ない委託から、直接雇用（臨時的任用職員）にすべきという意見が議会よりあった。									

所属長コメント	生徒が快適な環境で学校生活を送るために必要な施設の維持管理について、最善を尽くしていく。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									